



ご意見・ご感想を
お寄せください

会派・県政へのご意見・県政報告
のご感想などお寄せください。

滋賀県議会 対話の会・びわこねっと 〒520-8577 大津市京町4丁目1-1県庁2階
[TEL]077-528-4057 [FAX]077-527-1839 [E-mail]info@biwako-net.jp [URL]www.biwako-net.jp

九月 定例議会

木沢まさこと議員 が代表質問

折り返しの嘉田県政… 重要課題を問う

「新年度予算編成方針について」

Q 本年度(平成20年度)予算は「メリハリ」を欠いたとの指摘が、これまで議会でもなされてきました。次期(平成21年度)予算編成方針を策定するにあたって重要なのは、「マニフェスト」で掲げられた「教育」や「環境」、あるいは県民ニーズの高い「医療・福祉」に重点を置き、予算に「メリハリ」をつけることを目的とした表現にすることでありませう。そこで、次期予算編成方針では、「教育」「福祉」「環境」を重視するよう、各部署に対し知事のメッセージが明確でわかりやすく伝わる予算編成方針を考えてはどうかと思いますが、知事の所見を伺います。



A 知事 県内河川整備につきまして、気象条件が大きく変化する中、限られた財源のもとで効率的・効果的な投資が求められる中で、命を守る、そして生活や産業への壊滅的な被害を防ぐ、何よりも全体としての被害を最小化するということで、**県内河川の治水安全度の均衡に配慮し、効率的に治水安全度を高めるための整備を進める必要があります。**淀川水系河川整備計画(案)の中の国のダム計画がある河川についても、県が管理している区間に効果が及ぶものについては、安全度がどの程度向上するのか、また、他の県内河川とのバランスはどうかとの確認をする必要があるという意味で、県内河川整備と淀川水系河川整備計画(案)との関係は、一体として関連して考えるものであります。

Q 丹生ダム、大戸川ダム建設事業について、「移転された住民がおられるから、予定どおりの開発をするべき」という声があることに対して、今後知事はどのように理解を求めていくかについて伺います。

A 知事 丹生ダム、大戸川ダムの水没予定地域の皆様には、先祖伝来の集落を離れ移転するという、苦渋の決断のもとでダム建設事業にご協力をいただき、現時点においても引き続きご心労をお掛けしていることに対し、心からお詫び申し上げます。両ダム建設事業に関しては、疑問や不明確なところについて近畿地方整備局に説明や資料を求めているところがございます。県民の皆様とこれらの情報を共有しながら、未来世代にも説明がつくよう責任のある判断をしてまいりたいと考えており、**移転された皆様をはじめ県民の皆様には、判断に至った経過などを丁寧に説明させていただき、ご理解をいただくよう努めてまいります。**

森林政策について

Q 木材生産や森林づくりの担い手について伺います。木材が安定的に生産されなければ、県内産木材の活用は見込めません。現状では、林業従事者や山村住民の高齢化、および森林所有者の山離れによって担い手が不足しているため、安定的な木材生産は難しいと考えられます。この対策として、**若者を中心とした林業の担い手を早急に確保し、林業によって収入が得られることが必要であると考えますが、このことについての県の方針や進め方について伺います。**

A 知事 従来からの「緑の雇用対策」などで担い手対策を実施してきておりますが、今後飛躍的に増大する木材資源を安定的に生産し供給していくためには、**高性能林業機械の導入や路網整備などによる低コスト化施策を推進する必要があること**から、それに伴う技術者育成・確保と雇用条件の改善におよび一層取り組む必要があります。**今後先進地技術の習得などの技術者養成に早急に取り組むとともに、従来からの新規林業就労者対策の積極的な活用など、木材生産流通システムの実現に向けて総合的な林業労働力対策に取り組んでまいります。**

これからの医療政策について

Q 県内唯一の医科大学として、滋賀医科大学に対する研究支援を行い、一方で医師確保に向けた協定を結ぶなど、具体的に滋賀医科大学と連携を強め、早急に医師確保について協力を求める考えはあるか、知事に伺います。

A 知事 これまでも寄附講座の開設や、医学士や研修医向けの貸付金制度などの実施を通じて、滋賀医科大学との連携を深めてきました。また大学に出向き、6年生向けに県内定着に関する説明を行うなど協力関係を築いております。**今後とも県内の医師確保に向けては、滋賀医科大学との連携、協力的体制がその重要性を増すことから、より一層の協力をいただけるよう求めてまいります。**県としては、滋賀医科大学だけでなく、同時に京都大学、京都府立医科大学など近隣の関係大学との連携、あるいは自治医科大学などの協力はもとより、昨年度から取り組んでおります医師確保総合対策事業を引き続き進めていくことで、県内における医師確保を支援していきたいと考えております。

「河川整備について」



Q 国が提示した淀川水系河川整備計画(案)に対する県内各自治体の意見の中では、各行政区域内の治水や住民の安全策を強く考慮したものが見受けられ、県の治水政策に関する要望度の高いものも含まれています。そこで、県内行政区域内の河川にかかわること、淀川水系河川整備計画(案)との関係について、一体のものとして位置付けているのか、あるいはそれぞれ分離して考えるべきものとして位置付けているのか、知事の所見を伺います。



広瀬 裕司
東近江市選挙区

木沢 成人
東近江市選挙区

清水 鉄次
高島市選挙区

角川 誠
長浜市選挙区

佐橋 武司
蒲生郡選挙区